

(社) 日本ネイチャーゲーム協会 平成21年度 事業報告

I. 概況と総括

- ・平成9年の法人設立から13年目となる年度を終了
- ・新規事業として、教員免許状更新講習会を開催
- ・トライアル事業として、幼保小中高校教員免許取得者限定リーダー養成講座を開催
- ・初の常設展示施設『ネイチャーゲームステーション日の出』を日の出市に設置
- ・スポーツ振興くじ助成事業にて各種普及グッズの作成、自治体へのネイチャーゲーム認知度調査実施
- ・公益法人制度改革対策委員会を開催。新法人に向けた定款案を検討。
- ・養成講座の参加者減に伴う会員数の減少傾向は継続。社会のニーズにあった人材養成プログラムの開発が必要。

II. 会員数およびネイチャーゲームリーダー養成講座の推移

	平成21年度	平成20年度	平成19年度
年度末会員数	10,072名	10,417名	10,479名
会員更新率	86%	86%	85%
養成講座回数	68回	79回	87回
新規指導者登録数	1,039名	1,278名	1,332名
主催（登録者/回数/平均）	62名/3回/20.6名	73名/3回/24.3名	126名/5回/25.2名
課程（ 〃 ）	379名/20回/18.9名	526名/28回/18.8名	488名/26回/18.8名
組織・共催・クローズ （ 〃 ）	492名/38回/12.9名	679名/48回/14.1名	718名/56回/12.8名
教員限定講座（ 〃 ）	106名/7回/15.1名	-----	-----

III. 都道府県組織

都道府県ネイチャーゲーム協会	40 協会 ※未設立県 青森、秋田、鳥取、島根、香川、佐賀、沖縄
地域ネイチャーゲームの会	229 会
課程認定校ネイチャーゲーム研究会	9 会

IV. 外部広報/講師派遣等

展示	初の常設展示施設『ネイチャーゲームステーション日の出』開始 その他、イベント等での展示出展 2 回
取材	問合せ 12 件、メディア掲載 10 件
引用承認	申請件数 10 件
講師派遣	29 回

V. 平成 21 年度の重点項目に対する結果

重点項目	結果
1. リーダー養成講座参加者の増加 平成 20 年度に引き続き、本項目を重点項目とする。 社会のニーズにあった新しい人材養成プログラムを開発する。	・ 幼保小中高校教員免許取得者限定リーダー養成講座トライアル実施。 ・ 指導者養成委員会内にカリキュラム部会を設置し、日本協会が認定する各指導者資格の取得及び更新のために必要とされる教科目やその内容、時間配当等についての整理、構築に着手。
2. ネイチャーゲーム活用事業の拡大 省庁や企業と連携し、ネイチャーゲーム活用事業を拡大する。	・ 文部科学省からの委託事業として、子ども農山漁村交流プロジェクトに関する自然体験活動指導者の養成事業を実施 全国 12 会場 220 名の指導者を養成
3. 公益法人制度改革に対応した機関の設計 新公益法人に求められる諸条件を整えるとともに、ネイチャーゲーム活動をより大きく広げるために、団体の目的や事業等の見直しを行う。	・ 新法人に向けた新しい定款案および関連する規程案を作成。

VI. 事業部門別報告

1. 教育、スポーツ、環境保全、福祉、地域振興に向けた事業

1) 国民一般を対象とした公益性の高い事業

①第19回全国ネイチャーゲーム研究大会in大阪

新型インフルエンザの為に中止

②授業に生かす自然体験活動教員セミナー

2009年7月26日（日） 90名

③教員免許状更新講習会の開催（新規）

教員免許状更新講習受講対象者を対象に東京で開催

2009年8月1日（土）～2日（日） 40名

④企業向けセミナーの開催（新規）

マンパワー不足により実施せず。

⑤全国一斉ネイチャーゲームの日（ワールドシェアリングネイチャーデー）

2009年10月18日（日）に実施

⑥ネイチャーゲーム 5 時間セミナー（新規）

スポーツ振興くじ助成事業「地域ネイチャーゲームセミナー」内で、ネイチャーゲーム愛好者を増やすことを目的に実施

⑦会報 4回（6月、9月、12月、3月）発行

⑧ホームページ運営

スポーツ振興くじ助成事業「ネイチャーゲーム情報提供事業」として、ホームページをリニューアル。

⑨団体パンフレット作成配布

⑩ネイチャーゲームコーディネーターのつどい

2010年2月6日（土）～7日（日） 60名

⑪普及委員会 1回

⑫自然災害対策委員会

活動開始基準の災害がなかったため開催せず。

⑬年度別普及活動報告書

各組織の報告書のとりまとめ。

⑭ネイチャーゲーム普及促進フェア

子どもゆめ基金助成活動「つくろう！地域自然発見マップ」

86会場 2,333名参加（子ども1,706名 大人627名）

スポーツ振興くじ助成事業「地域ネイチャーゲーム教室」

80会場 2,797名参加（子ども1,892名 大人905名）

日本財団助成事業「親子の絆、地域との絆を深める」体験プログラムモデル事業

18会場 1,005名参加（幼児533名 大人472名）

⑮環境保全活動・整備事業

霧多布ツアーを企画したが、最少催行人数にならず中止。

⑯省庁・企業と連携した普及事業の検討

文部科学省委託事業として、子ども農山漁村交流プロジェクトに関する自然体験

活動指導者の養成事業を実施 全国12会場 220名

⑰セイフティアウトドアキャンペーン2009に参加

⑱ネイチャーゲーム普及ツールの作成配布

スポーツ振興くじ助成事業「ネイチャーゲーム情報提供事業」として、普及用チラシ4種（ノーマル、アクティビティ、大学向け、幼保向け）、普及用ポスター3種（ノーマル、リーダー養成講座、アクティビティ）、普及用DVD（約17分）の作成、配布。

⑲ネイチャーゲーム25周年記念事業実行委員会 1回

⑳国際会議準備委員会 1回

2) 加盟団体（都道府県組織）等との連携・協力のための事業

①事業保険に継続して加入

②体験カード&シールの発行

3) 公益法人制度改革への対応

①公益法人制度対策委員会 2回

2. 指導者の育成・支援事業

1) 公認指導者養成・認定

- ①日本協会主催リーダー養成講座 3回 63名
- ②組織主催リーダー養成講座 33回 444名
- ③アドバンスセミナー 3回 96名
- ④フォローアップセミナー 39回 659名
- ⑤インストラクター関連事業
 - ・養成講座 2009年11月13日～15日 4名
 - ・研修講座 2010年2月19日～21日 23名
 - ・インストラクターのためのメーリングリスト（INET）運用
 - ・講座講師養成講座 2010年1月23日 2名
 - ・講座講師のためのメーリングリスト（KNET）運用
 - ・インストラクターおよび講座講師の活動支援のための情報提供
 - ・スポーツ振興くじ助成事業「地域ネイチャーゲームセミナー」
50会場 1,157名
- ⑥コーディネーター養成研修講座
 - ・養成/研修 4回44名
 - ・コーディネーターのためのメーリングリスト（CNET）運用
 - ・コーディネーター活動事例集募集 8件
- ⑦トレーナー養成研修講座
 - ・養成講座 2009年8月21日～23日 3名
 - ・研修講座 2009年12月4日～5日 23名
 - ・トレーナーのためのメーリングリスト（JNET）運用
- ⑧指導者養成委員会 3回
- ⑨体験型環境教育研究会 2回
- ⑩幼児教育・保育ネイチャーゲーム研究会 2回
- ⑪幼保小中高校教員免許取得者限定リーダー養成講座（新規）7回 123名
- ⑫単位認定

2) 公認指導者の養成機関への支援

- ①課程認定校リーダー養成講座 20回 468名
- ②クローズリーダー養成講座 2回 42名

3) 公認指導者の養成機関の拡充促進

- ①大学担当者向けネイチャーゲームセミナー（新規）
スポーツ振興くじ助成事業「ネイチャーゲーム情報提供事業」として、大学向け普及用チラシの作成配布のみ実施。セミナーは開催せず。

4) 公認指導者資格（専門資格）の内容と研究

- ①指導者制度研究会（新規）
カリキュラム部会の設置開催

5) 都道府県ネイチャーゲーム協会等を通じた支援

- ①ネイチャーゲーム入門講座およびインストラクター資格取得支援（新規）
2010年1月16日～17日 8名
- ②自主企画セミナー等の都道府県研修会支援 6会場
- ③地方ブロック開催シンポジウム支援 1会場（東北ブロック）
- ④普及組織マニュアル（組織運営のための資料集）の作成、配布

6) 日本ネイチャーゲーム協会によるその他各種指導者支援

- ①公認指導者向け情報誌「自然案内人」の配布
- ②組織連絡先一覧の作成（会員向けWEBページに掲載、リーダー養成講座で配布）
- ③指導者保険への加入
- ④CONE登録を通じた活動支援
- ⑤登録システムの整備と運営

3. 調査研究事業

1) 教材教具施設認定事業

- ①教材認定委員会 1回
- ②グッズロイヤリティ
- ③教材・教具ライセンス事業に関する調査研究

2) その他の支援事業

- ①アクティビティ開発認定委員会 3回
- ②事例研究発表集 とりまとめ

3) 国際機関との提携及び連絡・協調

- ①シェアリングネイチャーワールドワイドへの加盟
- ②シェアリングネイチャーワールドワイド国際会議への参加

4) 顕彰・褒章制度の整備

- ①ネイチャーゲーム表彰審査委員会の開催 1回

5) その他

スポーツ振興くじ助成事業「ネイチャーゲーム調査事業」として、全国の生涯スポーツ担当者に向けたネイチャーゲームの認知度調査の実施。